

活力につまましては、第1次産業の農業、漁業を中心とした就業構造を大切にしながら、観光・製造業などの第2次産業、第3次産業を複合化させた第6次産業へのシフトを目指した町づくりを進めてまいります。そのためには、国家プロジェクト

であります三県架橋の実現と、それを結ぶ地域高規格道路の整備が不可欠な条件です。また、生活体系の基本であります道路整備として、県道長島宮之浦港線（平尾・鷹巣地区）の整備にめどがつき、平尾地区の設計委託業務が始まったところであり

ます。さらに道路、漁港、港湾、農業基盤などの整備と風車を活用した風車公園等の整備を併せて進めてまいります。

福祉につつまましては、全ての町民が生涯にわたり健やかに暮らせる町づくりのために、小さくてもキラリと光るものを備え

た町として、九州管内町村で初めての福祉事務所を運営し、一人ひとりにきめ細やかな福祉行政を進めているところであります。

今後長島町総合振興計画推進のため、町民一人ひとりの力を結集した取り組みを誓い、皆

さまのご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。



長島町議会議員  
濱上 實則

## 足腰の強いまちづくり

明けましておめでとうございます。輝かしい新春を皆さまとともに迎えられることを、心からお祝い申し上げます。

町民の皆さまには、平素から町議会の運営に対し、格段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、地方分権の推進に伴い、地方公共団体を取り巻く環境は益々厳しさを増しております

すが、新たな役割に対応するためには、地方税源の拡充と地方交付税の安定的確保を目指しているところであります。

ご承知のとおり、先の衆議院議員選挙では政権交代がなされ、民主党を中心とした新政権が発足し、国の政治手法も大きく変わりつつあり、まだ先の見えない不透明感があります。

現在の社会情勢は、長引く景

気低迷等により、国・地方を通じての厳しい財政状況は今後も予想され、高齢化に見合った福祉対策の確立、生活基盤の整備等多くの課題に対処していかなければなりません。

町議会としても、これらの課題に適切に対応するため、町民の最も身近な行政機関として、より豊かな住みよい町づくりを目指して、今後さらに創意工夫

を重ねて、長期展望に立った財政基盤の強化に努め、町民生活重視の立場から積極的に対応していかねばなりません。

より機能を強化した存在感のある議会となるよう全力で取り組みながら、本町の基幹産業である農林水産業の振興はもとより、商業も含めた足腰の強いまちづくりに、町民と一緒に頑張って努力する所存であります。

本議会は、今後も地域住民の代表として、皆さまがたと一丸となり、町政発展に尽力して参りたいと思っております。

最後に、皆さまのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭のごあいさついたします。